

平成 19 年度麻布大学同窓会中国ブロック会議の復命

山口県支部
支部長 富岡 郁夫

日 時：平成 19 年 10 月 6 日

場 所：山口県山口市「ホテルみやげ」

出席者：中国ブロック内各役員および、本部総務担当理事 福安嗣昭氏の計 9 名

●各県支部委員発表

岡山県：会費納入率は約 70～80%、10 年間連続未納者 13 名は除名処分。

本年度現在は約 48%の納入率であるが、11 月と 2 月に納入再依頼文(督促)送付予定

広島県：支部としての役割の発揮に苦慮しているため、団結心を図るためのグッズ配布、研修会、新年会、忘年会等の開催、慶弔の充実を計画。

会費納入率は約 60%、3 年連続未納者は除名処分。

同窓会本部への要望として

- ①同窓会員の活躍状況、各支部の活動状況、大学近況報告欄の充実等。
- ②在学生の県人会を設立し、同窓（先輩と後輩）の連携強化。
- ③卒業生、在学生、県内への就職者等の情報提供。

島根県：会費納入率は約 43%。総会出席率、会費納入率が低いのが課題。

向上を目指して、案内時には振り込み用紙を同封することや、参加の呼びかけを実施。大学へは県人会開催の呼びかけを要望。

鳥取県：会費納入率は約 45%。新卒者減少、高齢化に伴い組織運営の先細りを懸念。

郵便振り込みによって、会費納入率向上。連絡体制の確立や本部から同窓会長の招聘に取り組んだ。

大学へは、入学試験における地方枠の新設、地方の意見を取りあげる機関の創設を要望。

山口県：昨年度の休会状況から本年度、再スタート。

特に会費納入率の向上を重点に、徴収方法を試案。

●福安総務担当理事より

- ・同窓会住所録や会報の配送部数と会費納入者の差が問題点となっている報告。
- ・学部名の一部変更がなされた報告

●中国ブロック役員について

- ・山口県が九州ブロックに併合される案には全員が不適であると主張。
- ・評議員と理事の役割が不鮮明（鳥取県）
- ・同じく、その選出方法も不鮮明（鳥取県）

●次回ブロック会議開催県

鳥取県で承認